



学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室

平成 23 年 7 月 1 日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06 - 4309 - 3268

○ 東大阪市学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

○ 東大阪市学校教育重点目標

学校園の活性化と確かな学力の育成

総合的視点に立つ教育の推進、人間尊重に徹した人権教育の実践、信頼に応える学校園経営、学校園・家庭・地域の協働

平成23年度 スポーツ選手活用体力向上事業を開催！



文部科学省・(財)日本体育協会によるスポーツ選手活用体力向上事業が、大蓮東小学校(6月14日)、長瀬北小学校(6月27日)の両小学校で開催されました。

大蓮東小学校では、卓球元日本代表の森本文江さんによる卓球教室が開催されました。講師の森本さんは、当時16才の日本最年少で全日本選手権(女子ダブルス)に優勝し、世界選手権に出場の経験があり、現在は女子ナショナルチーム(福原 愛選手)のコーチをされています。当時の練習の様子(5,000本ラリー！？)や世界選手権のVTRを見ながら分かりやすい説明の後、準備運動から、いざ実技へ。初めは、ぎこちなく慣れない様子の子どもたちでしたが、森本さんのアドバイスで

徐々に上達し、あちこちのテーブルで笑顔が溢れました。その後、森本さんらとラリーゲームをしたり、最後には、森本さんの「世界のサーブ」に全員がチャレンジし、直角にスピンのかかった球にうまくラケットが当たったときには、喜びの声と大きな拍手が起きました。最後に、森本さんから「仲間を大切にしたい」、「感謝の気持ちを持って欲しい」、「身体を動かす楽しさを知って欲しい」、「大きな夢を持って欲しい」などの話がありました。



【子どもたちの感想】

- 初めての卓球だったけど、とても楽しかった。
- この教室で、また卓球がしたくなりました。
- スマッシュが凄かった、あんな風に出る様になりたい。
- 運動が好きになった。
- 頑張る事って大事だなと思いました。



長瀬北小学校では、サッカー元日本代表で元Jリーグ・ヴェルディ川崎等で活躍された林健太郎さんによるサッカー教室が開催され、いろいろな動きを取り入れたウォーミングアップから始まり、ボールに慣れるための基礎的な運動(リフティングや対面パス、ドリブル競走等)を行いました。

講師の林さんの延々と続く、リフティングの妙技に子どもたちは歓声を上げ、ミニゲームでは、林さんも若手教諭と子どもたちと一緒に汗をかきました。Jリーガー顔負けの子どもたちの熱のこもったハッスルプレーにその日のグラウンドには、さわやかな風が吹いていました。

最後に林さんから「しっかり食べて」、「しっかり勉強して」、「しっかり寝て」、「苦手なことや不得意なことにも積極的に参加してがんばって欲しい」とエールの言葉をいただきました。



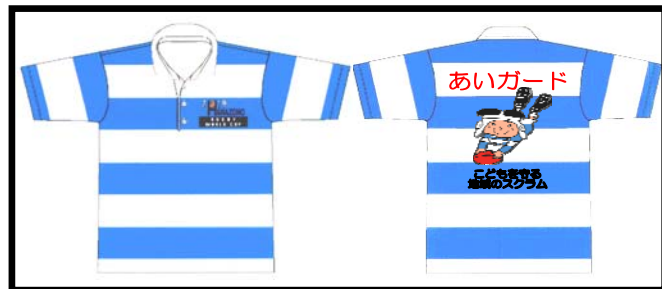
【子どもたちの感想】

- 今まで以上にサッカーが好きになった。
- ボールの蹴りかたを教えてもらって良かった。
- みんなと一緒に出来て楽しかった。
- サッカーや運動が好きになった。
- これからも、みんなと協力してがんばる。



いよいよ活躍する！ ラグビーワールドカップ誘致活動 & 愛ガード運動にかかると「スタッフウェア」完成！

ラグビーワールドカップ誘致活動と愛ガード運動の連携により、誘致目的と子どもの安全を目的としたスタッフウェアが完成しました！6月30日に各小学校へ配送され、愛ガード運動協力員さんに配布していただいています。今後も、くれぐれも無理のない中で子どもの安全確保に向けて活動いただきますようお願いいたします。なお、夏に向けては水分補給等熱中症対策に十分ご配慮下さい。



「英語村」で楽しく学ぶ♪

オンリーワンスクール推進事業の一環で、孔舎衙中学校・盾津中学校・柏田中学校の3校において「英語村」の取り組みが進んでいます。

英語村とは、ALTを複数、週一回派遣し、英語を話さなければならない環境（ノージャパニーズ）を設定することで、生徒の英語活用力を高めることを狙いとした取り組みです。



5~6人のチームが一人ずつ縄跳びに加わっていき、全員で跳びながら、合言葉の「EIGOMURA」を言えば、満点がもらえます。しかし、一人加わることによって、英語の質問が出されるので、その質問に英語で答えないことには、次のメンバーが縄跳びに入れません。”What’s ~ in English?”の質問が最初は聞き取れなかった生徒たちも、2回3回と繰り返すうちに、すばやく英語で答えられるようになっていきました。

「英語を使って楽しく遊んだ」「遊んでいたら英語が身についた」という経験を積み重ねていくうちに、英語の楽しさを覚え、使える英語が自然と身についていくよう、取り組んでいます。

そのひとつである柏田中学校での取り組みを紹介します。

毎週木曜日の午後、6人のALTを活かした体験型のオールイングリッシュの時間を設けています。放課後、生徒は「英語村パスポート」を持って、英語村教室に自発的に集まり、ALTと英語のゲームや集団活動を楽しみます。

6月16日（木）の活動では、テレビのクイズ番組「ヘキサゴン」に登場する縄跳びクイズをグループで競いました。



英語村教室には、英語の本やボードゲームなども充実。ALTと英語で談話しながら、トランプや人生ゲームなどを楽しんだりもします。